

KSKP BUG^{バグ} No.84

発行人/関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015大阪市天王寺区真田山町2-2
東興ビル4F
編集人/〒601-8036 京都市南区東九条松田町62
NPO法人日本自立生活センターワークス共同作業所
TEL (075) 682-3201
FAX (075) 682-3330
http://kyoto-j-works.com/
Eメール saba@mediawars.ne.jp
編集責任者 大崎雅彦



書/小松満雄

誰の上にも春の陽は微笑む。

目次

特集

- ワークス座談会「IT新時代を前に、私たちとパソコンの関わりを振り返る」..... 2
- 広がれワークスの輪「京都おたべ本館」見学の巻..... 5

連載

- 聖林院みみづく便り..... 6
- イベント報告..... 7
- あしあと..... 8

ワークス座談会2018

テーマ「IT新時代を前に、私たちとパソコンの関わりを振り返る」

出席者 / 大崎、八木、 嶧田、鈴木、 椿森、日野原、門野
司会 / 山中



司会：ワークスの設立当時からパソコンとの関係は深く身近でしたよね。そこで今回は、これからのIT新時代、IOTや人工知能のある生活を踏まえて、みなさんともう一度、パソコンや情報機器についてお話ししたいと思います。では、パソコンとの関わりを振り返ってみましょうか。

嶧田：まず、パソコンで字が打てるようになったのは確かに便利ですよ。手書きからワープロへ。文章を作るのと、あとメールなんかもそうです。

八木：僕らはゲームができるようになったのが大きいです。なんていうか、娯楽性が向上したというか…。将棋やオセロ、インベーダーゲームだったりみんなそんな娯楽から入っていたと思います。

椿森：僕の場合は、映画や音楽CDを取り混んで楽しむことでしょうかね。

司会：それぞれ趣味や娯楽の部分でパソコンを介して利便性を感じていることがわかりました。他にはどうですか。

鈴木：今までだったら手紙など手書きしていたものが、入力することで随分と見やすくなって、さらに文字の大きさを自由に変えられて、とても使いやすくなりました。パソコンは「箱」だけど、この箱の中でどうやってできているのか気になりました（笑）。

門野：例えばインターネットを使えば、自分の足でそこへ行かなくても調べたいことがすぐにわかったりします。これは便利でしょう。

やはり、インターネット環境が充実したことで生活は変わったのではないのでしょうか。

司会：ということは、パソコンの登場、インターネットの普及は概ね私たちの生活を良くしてきたということでしょうか。

大崎：手書きが苦手だった人がパソコンできれいに書いたり印刷できるようになったことで、仕事ができるようになったと感じられるのは、確かに大きい功績といえます。また、検索することで、ものを調べるのに図書館に行かなくてはならないとか、高いところの本をとってページをめくるといったことが全く必要なく出来るようになったり、もっといえば、ページをめくって本を読むことはできないけどパソコンを使ってできるようになる。その辺の「バリア」が無くなったというのも大きいのではないのでしょうか。

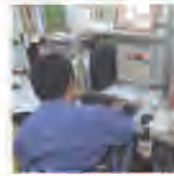
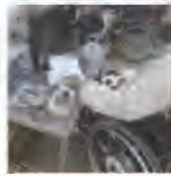
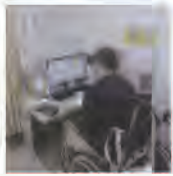
八木：でも、一部では手書きをよくしてますよね。

大崎：それはもちろんで、必要な時は手書きしなくてはならないけど、手書きでなければ絶対ダメというのとは全然違うはず。だから、逆にパソコンがあるから仕事もあるのだけど能力がちゃんと評価されるというか、本当にその道で優れたものを出さないとその仕事にはつけない時代かもしれませんよね。つまり、優れたIT機器があってもそれを使う人がどうかということで、これは障害者も健常者も無関係ないのでは。

司会：パソコンなどが個々の能力を引き出すきっかけになりえたとも言えると思います。

鈴木：インターネットで調べて、例えばグルメ情報など、自分の行きたいお店を検索して実際に出かけることがあります。パソコンが出かけるきっかけになっているからだ。

パソコン ———— 文章が書ける、読みやすい
 — 遊び、娯楽が広がった……



思います。

門野：僕はどこかへ行くというのはあまり思わなかったです。

八木：今までとは違うことが出来るようになったとか、何か自分を少しでも前へ進められるようになったのは確かでは？

門野：確かに、パソコンで名刺をつくるとか昔はなかった…。

大崎：パソコンがない時代は名刺一枚作るにも活字を拾ってきて組み上げて版をつくってと、とても手間暇がかかっていたわけですからね。門野くんもパソコンがなかったらそういう仕事をやろうとしても多分無理だろうね(笑)。そうして、誰もがパソコンをできる時代になって、みんな便利になったから、仕事では本当にデザイン力というか、仕上がりが評価されるようになったわけです。

八木：そこから本当に中身の勝負になってくるんじゃないでしょうか。

司会：では少し違う視点で何かありますか。

日野原：パソコンの普及で便利になった反面、人間関係が希薄になった気がします。ですから、パソコンが人を幸せにしたかどうかの最初の問いかけに対しては、半分半分という感じでしょうかね。

八木：確かにメールではその人のニュアンスが分からなくて怖い時があります。

司会：では、よく使う機器はなんですか。

嵯田：家にもパソコンはありますが、やはり携帯ですかね。

八木：スマホが主です。

鈴木：僕はパソコンが多いです。

椿森：僕もパソコン。

日野原：スマホかな。

八木：翔太(鈴木)くんや椿森さんは携帯が使いにくいからそうなの。

鈴木、

椿森：そうそう。

椿森：だって、同じところを何回も押さなあかんやん(笑)。

司会：最後にこれから始まるIOT社会についてお聞きします。すでに売られているスマートスピーカーなど、音声認識で家の電気をつけたり消したりするやつは、どうですか。

椿森：家のリモコンが無くて済むならその方がいいな。そういえば掃除機のルンバも自分で学習して掃除の順路なんかを考えるっていうけどあれもそうなんかな。

嵯田：でもそういうIOT機器はインターネットに常時接続されていて、会話などを聞いていると聞きますが、なんかずっと誰かに話を聞かれているというのはいい気はしません。でも、スーパーやコンビニにはつけた方がいいと思います。万引きする人がいなくなるじゃないですか(笑)。

司会：ありがとうございます。この20年でいろんなことが変わりました。これからさらなるIT革命が来ると思います。それが一人ひとりの自立生活に役立つものとなることを願うばかりです。今日はお疲れ様でした。

ワークス座談会2018

テーマ「IT新時代を前に、私たちとパソコンの関わりを振り返る」



IoT Internet of Things

AI Artificial intelligence



スタッフ10人の声

- ①今、パソコン等IT関連機器を使っていますか？
はい10 いいえ0 家5 ワークス8 その他（ ）
- ②IT関連機器を使用するようになったのはいつですか？
20～30歳 5 40～50歳 3 その他(2) 57歳 1 70歳 1
- ③IT関連機器は何をお使いですか？
パソコン 6 スマホ 3 タブレット 2
ミュージックプレイヤー 1
- ④IT関連機器を使用する目的は？
仕事 10 趣味 9 障害の補助的役割 4 その他（ ）

⑤パソコンやIT関連機器と使用するようになって自立生活は向上しましたか？

向上した 5 変わらない 3 向上しなかった その他 (大変、便利になった)

⑥今後、IT関連機器をやりたい事はありますか？

ある 6 ない 4

⑥であると答えた方具体的に書ければ記述をお願いします。

☆通信販売等の利用。☆イラストレーターで頭の中にあるデザイン等を形にしたい。

☆イラストレーターやフォトショップで新しい機能が出来たらマスターしていくように努力する。

☆きかい(AI)がいっぱいできてにもんげんもがんばる。

座談会をふりかえって

企画担当者 / 鈴木翔太

パソコンやスマホ、携帯がみんなにとって、なくてはならないものだというのはよくわかりました。ただ、だからこそ、昔のように手紙を書いて投函し、相手からの返信を何日も待つことも忘れてはならないと思いました。

これからはさらに進化して、パソコン、スマホなど「モノ=形」から「人」に近い人工知能が、家の中に入ってくると思っていますので、いろんなことをしてくれる時代になるのでしょう。それは期待もあり不安もあるといった感じです…。だからうまく付き合って、自立生活を充実させたいです。機械であっても「おはよう、いってらっしゃい、おやすみなさい。」そう言ってくれる日常を楽しみにしています。

「広がれワークスの輪」取材しちゃいました

思わず、いきなり!

「京都おたべ本館、見学の間」

今回は、特番としてワークスからもほど近い、京都おたべ本館へ見学に行ってきました。生八ツ橋は今も変わらず人気の商品さて、その工場はどんな感じでしょうか!

取材 / 2月13日 火曜日

参加者 / 椿森、谷口、鈴木、門野、藤本、中橋、水野、八木

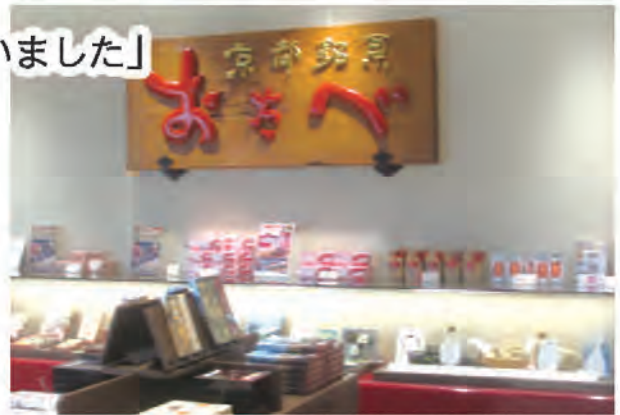
京都おたべ本館は、ワークスから車いすで20分ほどのところにあります。最寄り駅は、いつも使っている近鉄十条駅。道のりは、比較的広い歩道が続くので、交通量が多いながらも安心していけます。ただ、段差や斜めになったところがいくつもあって、初めての方は少し戸惑うかもしれません。十条通りを西へ向かって国道1号線を渡ればほどなく、北側大きな建物が見えてきます。一同、無事に到着です。入り口では係の方が待っていてくださり、私たちを中へと案内してくれました。

ここは、一階がお土産売場で、2階が工場になっていて、出入り口にはスロープも完備され、車いすの案内もしっかりしてます。説明を聞いてエレベーターで2階へ。

エレベーターは車いす一人と介助者一人が乗れる大きさです。二階はガラス張りの窓から工場のラインが見学出来る様に細い通路になっており、頭上にライン稼働時の映像が流れています。案内の方から八ツ橋やお食への由来や生産ライン等について説明を受け、ベトナム産のニッキに触れてみたり、試食もさせてもらいました。

見学を終えて再び一階へ降りると、お土産コーナーの近くにはフリードリンクのサービスがあって誰でもお茶やコーヒーをいただけるようになっています。ちなみに一週間前に予約をすると、車いすの方でも、おたべ作りを体験できるそうです。

京都駅からもアクセスがいいので、皆さん、一度、訪ねられてはいかがでしょうか。



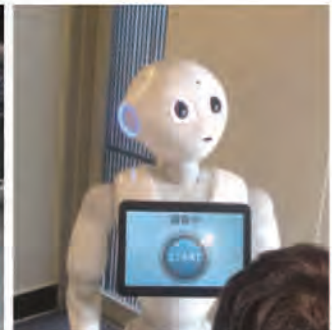
京都といえば、おたべの生八ツ橋ですね。



この日の天気は薄曇り。まだ2月だったので肌寒く、近くとはいえしっかり着込まなくてはだめ。



初に障害者専用駐車場のコーンが目止まります。



ベッパーくんもお出迎えてくれました。どうも、どうも…。



エレベーターは介助者と二人 工場の説明を受ける一同・・・入れます。



オートメーション化された工場。おたべは日々つくられています。



バリアフリーのトイレも完備されています。

ご好評いただき、ありがとうございました!

～2018年ワークスオリジナルカレンダーに携わって～

カレンダー担当 日野原輝美

私がワークス共同作業所に入所して2年になります。1年目の年末年始は頸椎の手術で入院しておりました。

なので、本格的にカレンダー制作に携わるのは初めてでした。

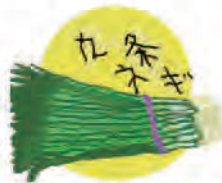
恒例の卓上カレンダー3種類に加えて、今までに無い物を作りたいと思い、聖林院で種から育てた「藍」を使ってみようと思ったんです。

それでみんなで相談し、藍のミニコースター付きの和紙風ミニカレンダーを作りました。

みんなの協力もあり売れ行きは好調で、たくさんうれしいお声もいただけて感謝でいっぱいです。制作に携われて本当に良かったと思います。

今後はどうしたらもっと皆さんに喜んでもらえるカレンダーをつくれるのかを考えていきたいです。

みんなの想いを大切にしながら、楽しいモノ作りをしていきたいと思っています。



聖林院みみづくさん便り

今冬行われてた平昌冬季五輪のカーリングのように、みみづくさんを拭いています。

我ながらとても良い感じで拭けていると思います。

そしてそして、お彼岸を過ぎてこれからは春本番!

そうしたらいよいよワークスのソフトクリームが始まるぞ、

と、皆さんの声が聞こえてきたように思います。聞くところによると

4月8日の日曜日からソフトクリームを巻いてみようという話も聞いています。

その頃には皆さんの春の門出をソフトクリームで祝って欲しいなあと思います。



☆毎週火曜の午後と毎月8日(2月、8月除く)10時～、そして24日のみみづくさん法要(11時～)はワークスが出店ご案内しております。

どうぞ、お気軽に遊びにいらしてください。

イベント報告

Work's in spring

椿森 信幸

希望の家のミニ・バザー

3月3日(土)に希望の家のミニ・バザーがありました。今回ワークス以外にも2~3ヶ所の団体さんが参加。ワークスは、主力商品のわた菓子、ピーズ、シャボン玉でいつものように盛り上げようと気合充分…、しかし思ったより子供さんが少ないではありませんか。心配をよそに大人の方が「めずらしい」と言い買っていく人がいて、やはりワークスの放つ「懐かしさ」は世代を越えて伝わるんだと感じた次第です。はい。



世代を越えて「懐かしさ」を提供する」ワークスです。

向島・こどもまつり

次の日3月4日の向島・こどもまつりは、皆10時前ごろに集合。この日はわた菓子機を動かすための発電機をほぼ始めて使うというので、ちゃんと電圧がいつもと一緒の100A近くまで上がってわた菓子ができるのか不安でしたが、無事に成功!! ポータブルガスボンベ2缶で約1時間ほど持つこともわかりました。4時間で8缶ほど空けて、なんと119本を販売。シャボン玉も調子よく47本売れて、今年になってから1番の売れ高と、あいなりました。食べ物売り場は10街区の外でテントの下、ステージは、藤ノ木小学校の体育館の中で中学生の子どもたちが、演奏をやっていました。これからもこの発電機とともに、イベントに参加していきます。



テント前には人通りが絶えず、一声かけてくれるのもうれしい限りです。



恒例のわた菓子行列。みんなちょっと待ってね・・・。

藤森神社手づくり市

梅の開花が例年より早かったので、3月は梅と桜の共演があらこちらで見ることができました。18日(日)は藤森神社の手づくり市。出店者もお客さんも春らしい雰囲気できつろいでいたようです。ここではいつも「対面、対話」に花が咲くので、ワークスのブースは、まさに百花繚乱の春の訪れ。常連さんが声をかけてくれるのは、実に嬉しいもの。これから暖かくなってきたら、もっとリピーターさんを増やしていきたいです。また、来月は100回記念開催とのこと。私たちも何かいつもと違う商品を用意してみようと考えてます。



あしあと 2017年11月～2018年3月

- 11月17日(金) 多文化で講座「痛み・疲れの軽減講座」を受ける
ワークス主催(京都市地域・多文化交流ネットワークセンター)
- 11月19日(日) 藤森神社手作り市、店舗拡大、おでん(缶入り)
- 11月21日(火) 府身連 PC講習会、長岡京市(フォローアップ)
- 12月15日(金) 府身連 PC講習会、京丹後市(フォローアップ)
- 12月22日(金) バリアフリーファーム上田夫妻に感謝する会
- 12月29日(金) 仕事納め
- 01月03日(金) 正月特別開所、持ち寄りで食事会
- 01月05日(金) 仕事始め
- 01月19日(金) 新年茶話会(京都市地域・多文化交流ネットワークセンター)
- 01月21日(日) 藤森神社手づくり市(藤森神社)
- 02月13日(火) BUGで取材へ「おたべ本館」
- 02月28日(水) 消防訓練、→初期消火、消防連絡、避難誘導
- 03月03日(土) 希望の家ミニバザー
- 03月03日(土) 国際障害者年連続シンポジウム
- 03月04日(日) 向島こどもまつり
- 03月07日(水) 福祉避難所への公的備蓄物資を受け取り
- 03月08日(木) ほていまつり
- 03月18日(木) 藤森神社手づくり市(藤森神社)

みなさんのご意見をお待ちしております。
ワークスBUG編集部まで。

ゴールデンウィークのお休みについて

勝手ながらワークス共同作業所はこよみ通り
4月30日(月)と5月3日(木)～4日(金)までお休みとさせていただきます

★今号のNAKAJIMA'S EYESは休載させていただきました。

あ と が き 編 集 後 記

1月は「行く」2月「逃げる」3月「去る」と言います。
お正月に今年こそ！はやろうと決めた事がまだ始められてない時
気持ちを切り替えて4月から始めませんか。(mikoto)

今回は、BUG編集のメンバーで、座談会を何度かやって、いろんな意見を出しあったりしていました。
メンバーのみんなは、結構おもしろい事や、最近腹が立った事や日頃思っている事など、本音でトークをし
たりして、私自身もいろいろ勉強になりました。またこういう場をもっと増やしていきたいです。(澤田大輔)

今回おたべまで取材に行きました。色んな所に出かけるのもBUGでしか出来ない事。この他ではあまり経験でき
ない事ができる今のうちに沢山吸収していきたいと思います。でもすぐ忘れてしまうのが辛い所ですが。今回の
冬季五輪のメダル獲得数は非常に多く長野五輪を抜き最高とのこと。という事で次の夏季五輪は、ついに東京。
その時には今回よりも多くのメダルが期待できるので非常に楽しみです。(maybe所員)

喉のつれづれ日記

ヤギザップするぞ・・・ demi



チロルチョコ30個をイッキに食べました!

一九八四年八月二十日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

定価1000円